-kan

往

度

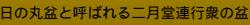
佛

光明皇后没後

かがみ

平成二十二年一月五日より

手鑑



光川工 在 班主接法

TI.

11

光明皇后の写経「離生性法」

問

红

何事

即

作

白

不止

佛

5

TH

間心若无過瞋悉一人言天

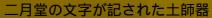
光明皇后の写経「安寧法句経辨喩第二」

初

間

者取苦一

間二苦无



辭

一切無生語言陀罪足多實如

丁讀宿王華善養言是就七我宿王華

不可思議切德乃能問釋地手足

光明皇后の写「鮮-

之事利益無量一切衆生



637-0016 奈良県五條市近内町 5 2 6

&FAX 0747-22-4013

http://www.uchinono-yakata.com

E-mail info@uchinono-yakaata.com



東大寺の文字が残された黒漆瓶



五條市には藤原南家の建立した「栄山寺」があります。栄山寺を建立した藤原武智麻呂は、藤原不比等の長男であり光明皇后の腹違いの兄です。藤岡家に残る資料「手鑑(てかがみ)」には、光明皇后が書き写したとするお経が収載されており、当家には他に東大寺の文字が記された資料もあります。藤原南家と平城遷都との関わりと共に往時を知る貴重な手がかりと言えるでしょう。

日本の出来事 / 光明皇后の年譜

629年 舒明天皇即位 皇居は飛鳥岡本宮

630年 遣唐使が始まる。

645年 大化の改新。

663年 日本・百済軍、唐、新羅軍と戦い白村江で大敗。

667年 近江大津京に遷都。

672年 壬申の乱。飛鳥に遷都。

694年 藤原京に遷都。

701年(大宝元)大宝律令制定。

不比等の娘(安宿媛 あすかべひめ)後の光明皇后生まれる。

706年(慶雲3)藤原仲麻呂生まれる。

710年(和銅3)平城遷都。

712年(和銅5)「古事記」できる。

713年(和銅6)諸国に「風土記」できる。

720年(養老4)「日本書紀」できる。不比等没す。

729年(天平1)光明子臣下から最初の皇后となる。

730年(天平2)光明皇后悲田院、施薬院を設立。

このころ「楽毅論(がっきろん)」を臨書する。(正倉院御物)

737年(天平9)天然痘流行。不比等の4子死ぬ。

7 4 0 年 (天平 1 2) 光明皇后写経事業を行い「五月一日経」が 現存する。

749年(天平感宝1)光明皇后、甥の藤原仲麻呂を紫微中台(しびちゅうだい)長官として権勢をふるう。

752年(天平勝宝4)東大寺大仏開眼。二月堂修二会始まる。

759年(天平宝字3)「万葉集」完成。

760年(天平宝字4)光明皇后没す。(6月7日)

五條の出来事/栄山寺の人々の年譜

近内丘陵に勘定山古墳築かれる。

今井天神山で瓦の生産始まる。

鴟尾(しび)や素辨軒丸瓦生産。奥山久米寺へ瓦を供給。

荒坂で須恵器と瓦を生産。川原寺へ供給する。

舒明天皇 宇智野大野を訪れる。

この頃宇智の大野で条里制が敷かれている。

「たまきはる宇智の大野に馬並めて朝踏ますらむその草深の」「万葉集 巻ー・4 が詠まれている。

吉野川南岸の牧代(瓦谷)で瓦の生産が始まる。

本薬師寺・藤原宮に瓦を供給する。

680年(天武9)藤原武智麻呂生まれる。

698年(文武2)文武天皇が宇智郡に行幸。

7 0 6 年(慶雲3) 文武天皇が<mark>内野</mark>に行幸。 藤原仲麻呂生まれる。

7 1 2 年 (和銅 5) 「古事記」に阿陀の鵜飼を 記す。

7 1 9 年(養老 3)藤原武智麻呂 栄山寺建立。 7 2 0 年 (養老 4)「日本書紀」に阿陀鵜養部

720年(食名4) 日本音紀 」に門を納食品を記す。

734 (天平6) 大和宇智郡の成立。

出屋敷に火葬墓が営まれる。

737年(天平9)藤原武智麻呂没す。

763年(天平宝字7)藤原仲麻呂が栄山寺八 角堂を建立。

764年(天平宝字8)藤原仲麻呂、乱を起こ して没す。

同時開催「萩原栄文『鬼』展」(米蔵にて)/岸駒作『虎之図』他(大広間・貴賓の間にて)/『東海道五三次 上・下』(展示室にて)